

MAINTENANCE

可動橋点検補修



可動橋は、本土と離島や幹線と幹線を結ぶ重要な航路に整備されたフェリーへの車輛乗降施設であり、不具合が発生すると社会活動に多大な悪影響を与える事が考えられます。施設の維持管理に当たり、日常点検及び定期点検を実施する事により、施設の故障を防止するとともに、必要に応じて補修をする事で、機能の保全、施設の延命化が図られます。

日常点検では点検困難な橋体及び門柱・門構の可動橋本体の部位や油圧及び電気系統の可動装置などの定期点検を行い、施設の健全度の評価及び補修箇所を抽出するなど、極めて専門性の高い業務です。



部位別点検項目概要

橋体や門柱及び門構等の鋼材
目視による鋼材の腐食や損傷状況

軸受部
給脂の状態、グレースニップルの破損

ヒンジ沓・サイドローラー・戸当たり・休止装置
支承部の回転状況、戸当たりとの隙間

油タンク
油糧、油漏れ、油の劣化状況

ポンプ及び油圧シリンダ
定格運転時の油漏れ、振動・異常音、圧力

圧力計
作動、指針の状態、油漏れ

油面計
ガラスの汚れ、指針の腐食状況

リリーフバルブ・チェックバルブ・流量制御弁
油漏れ、開閉作動状態

方向切換弁
油漏れ、開閉作動状態、振動・発熱状況

油圧配管
破損、腐食状況、油漏れ、継手の緩み、曲り

非常用エンジン
エンジンの始動、オイルの汚れ・量

引き込み計器盤
発錆、変形、破損状況、端子の緩み抜け、配線

操作盤
表示灯の点滅状況、ボタン作動状況

業務実績

- ・ 多比良港改修工事（調査設計業務委託）
- ・ 島原港社会改修工事（調査設計業務委託）

